

2021(令和 3)年度 松江北高校十大ニュース

(注) この記事は北高教頭・双松会事務局長の伊藤尚子先生(40期)に特別制作のご協力をいただきました。

▼令和 3 年 3 月卒業生の進路

国公立大学に 188 名(既卒者を含む)が合格しました。難関 10 大学(北海道大・東北大・東京大・東京工業大・一橋大・名古屋大・京都大・大阪大・神戸大・九州大)の合格者は 26 名で、そのうち京都大には 5 名の現役合格がありました。医学部 17 名、私立大学は延べ 332 名の合格者数がありました。コロナ禍の影響も受けてか、現役の地元大学への進学率が高かったのも特徴的な年でした。

▼令和 3 年度入学生から松江市内通学区撤廃

令和 3 年度入学生から普通科における松江市内通学区が撤廃となりました。

この年に高校入試を受験する市内の中学 3 年生はもともと人数が少なかったこともあり、残念ながら本校は大きく定員を割り、1 クラス 32~3 名となりました。入学式はコロナ禍で新入生のみでとり行う形でのスタートとなりましたが、新入生もこの 1 年で、すっかり北高生となり、いろいろなことに前向きに取り組む姿勢が見られます。



▼部活動の健闘！

体育系の部活動では、2 年ぶりに開催された 6 月の県総体で男女総合 3 位となり、夏に行われたインターハイにボート部、登山部(男女)、弓道部、陸上競技部などが出場しました。

文化系の部活動は 8 月に和歌山で開催された全国高等学校総合文化祭へ箏曲部、囲碁・将棋部、百人一首かるた部、美術部、自然科学部など多くの部活が参加しました。

それ以外でも県内はもちろん、中国・全国大会に多くの競技で参加があり、健闘しました。



▼北高魅力化事業その1 グランドデザイン決定！

6月より本校および県のホームページに掲載しています。

グランドデザインとは、各学校の目指すところが一目でわかるように1枚紙にまとめたものです。

本校のデザインは3年生の生徒によるものです。

上部のマーブル模様は北高生の個性が混じり合う様子を表していて、決してみんなが同じ色に染まることなく、それぞれの個性を持ちながら全体に溶け込み合う感じを表現したそうです。



▼北高魅力化事業その2 PR編

今年度入学生の定員が大きく割れたことで、本校の魅力をきちんと地域に伝えていたのか振り返り、今年度はじめて業者による学校紹介DVDを作成し、6月から各中学校へ配布、学校説明会等で使用しました。ロングバージョン（18分半程度）とショートバージョン（3分半程度）があり、9月にリニューアルした北高のホームページにも載せています。また、6月には島根県民会館中ホールで中学3年生の保護者を対象に学校説明会を開きました。参加した保護者からは「北高での様々な取組がよくわかった」「これまでのイメージが変わった」などと好評でした。



▼北高魅力化事業その3 行事編

7月に2年生普通科の希望者20名が主体的な進路選択に向けて自らの視野や価値観を広げるために、1泊2日で津和野研修を行いました。過疎化の進む中山間地域の医療、地域資源を生かした持続可能な産業などの体験学習、県外生を含む津和野高校生との交流などまたとない貴重な経験をしました。

また、3年ぶりに12月に本校でエンパワーメントプログラム（5日間を英語のみで過ごす語学研修）を希望者対象に実施しました。

40名の参加希望者があり、参加した生徒たちの5日間の変容ぶりには目を見張るものがありました。



▼7月豪雨 大きな被害

7月6日から大雨により土砂災害警戒情報が出され、松江市内全域に警戒レベル4（避難指示）が発令される大きな豪雨がありました。JRや一畑電鉄、市営バスなどの公共交通機関のストップ、北高近辺の道路、第2グラウンドなどの冠水・陥没など登下校に影響が出ました。学校は7日(水)～9日(金)までの3日間を臨時休校としました。

▼8月の台風で桜倒木

8月に松江を襲った台風9号の大風で、職員駐輪場の西側、倉庫の北側にあった大きな桜の木が倒木しました。

この桜は、この赤山の地に咲く桜の中で、例年最も早く開花する桜と言われていました。特にけが人や他に大きな被害がなかったのが不幸中の幸いでした。



▼紅陵祭

「^{はやて}颯 ～あかやまに新たな風を～」

9月には恒例の紅陵祭（学園祭）を無事に実施することができました。コロナ禍での開催2年目になりましたが、これまでの伝統（全体講演、1年生のデコ、2年のクラス出し物、3年ページェント、体育祭など）を守りつつ、今しかできない、今だからこそできる学園祭となりました。最終日には後夜祭を行い、最後までしっかり楽しむことができました。



▼校内ICT化進む

校内のICTの整備が進んでいます。教員も生徒も授業や伝達、アンケート集計など積極的に端末等の活用をしています。

このおかげで7月豪雨の臨時休校中でも学校と生徒がオンラインでつながったり、連絡事項を提示したりすることができました。



また、夏休み中に「未来スクールステーション」という校内テレビ放送システムを導入しました。これにより全員が体育館等へ集まれないコロナ禍でも、各教室にいたがらのリアルタイム集会や録画済み連絡事項などの一斉伝達がスムーズになりました。